

昭和42年度果樹園関係除草剤 試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和42年度果樹園関係除草剤の適用性判定試験成績検討会は、ミカン園関係が本年1月16日、リンゴ・落葉果樹園関係が同1月30日にそれぞれ東京で開催された。

その結果の概要をここに紹介する。

1. 供試除草剤の動向

昭和42年度果樹園関係に供試された薬剤は、ミカン園関係13薬剤、リンゴ園関係10薬剤、落葉果樹園関係6薬剤、計29薬剤である。

(第1表)

なお、昭和43年度は夫々14薬剤、6薬剤、8薬剤が供試されることとなっている。

2. 昭和42年度の試験結果の概要

昭和42年度に供試された29薬剤の中で、有望と認められて実用化に移されることになった薬剤は、ミカンに対するA-1803, H-732, リニュロン, STIN, AD, パラコート+DCMU(現地混合)の6薬剤、リンゴに対するAD, パラコート+ジクワット(現地混合)の2薬剤、落葉果樹に対するDCPA・NAC, ATA・1-B-1, ADの3薬剤であった。

なお、各薬剤に対する判定結果は第2表、実用性の認められた薬剤の使用基準については第3表に示した。

<第1表> 昭和42年度果樹園関係供試薬剤成分一覧表

区 分	薬 剤 名	有 効 成 分 お よ び 成 分 含 有 率	委 託 会 社
ミ カ ン	アメトリン乳 剤 (ゲザボックス)	2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ -S-トリアジン 25%	日 本 化 薬
	A-1803水和剤 (キャンパロール)	2-クロル-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリアジン (CAT) 14% 2-メチルチオ-4,6-ビス(イソプロピルアミノ)-S-トリアジン (プロメトリン) 36%	日 本 化 薬
	H-732水和剤	3-タートブチル-5-クロル-6-メチルウラシル 80%	丸 和 物 産
	リニュロン水和剤 (アフアロン)	3(3,4-ジクロルフェニル)-1-メトキシメチル尿素 50%	アフアロン普及会 (ヘキスト)
	リニュロン-S乳 剤 (アフアロン-S)	3(3,4-ジクロルフェニル)-1-メトキシメチル尿素 25%	イハラ農薬

区 分	薬 剤 名	有 効 成 分 お よ び 成 分 含 有 率	委 託 会 社
ミ カ ン	DNBPA・リニュロン 乳 剤 (プレボスト)	2,4-ジニトロ-6-(1-メチルプロピル)フェニルアセテート (DNBPA) 20% リニュロン 10%	三 共 九 州 三 共
	STIN 乳 剤	3,4-ジクロロプロピオンアニリド(DCPA) 34% 1-ナフチル-N-メチルカーバメイト(NAC) 5% 2-(1-シクロヘキシル)-シクロヘキサノン(CHCH)17%	イハラ農業
	MCA・TCA・2,4,5-T 水 和 剤 (グラスレス2号)	モノクロル酢酸ナトリウム(MCA) 70% トリクロル酢酸ナトリウム(TCA) 10% 2,4,5-トリクロルフェノキシ酢酸(2,4,5-T) 5%	三井化学 三井農林
	MCC 乳 剤 (スエップ)	メチル-N-(3,4-ジクロルフェニル)カーバメイト 20%	スエップ研究会 (日産, 日農)
	CYPROMID 水 和 剤	3,4-ジクロル シクロプロペン カルボキシアニリド 50%	東陽通商
	AD 水 和 剤 (ボミカル, アプレックス)	3-アミノ-1,2,4-トリアゾール(ATA) 37.5% 3-(3,4-ジクロルフェニル)-1,1-ジメチルウレア (DCMU) 37.5%	石原産業 丸和物産
	TO-11 乳 剤	チアゾール系化合物 15% DEP(有機リン剤) 3%	東洋高圧
	パラコート+DCMU	現 地 混 合	武田薬品
リ ン ゴ	アメトリン 乳 剤 (ゲザボックス)	ミカンの項 参 照	日本化薬
	CYPOMID 水 和 剤	"	東陽通商
	リニュロン水和剤 (アフアロン)	"	アフアロン普及会
	H-732 水 和 剤	"	丸和物産
	MCA・TCA・2,4,5-T 水 和 剤 (グラスレス2号)	"	三井化学 三井農林
	AD 水 和 剤 (ボミカル, アプレックス)	"	石原産業 丸和物産
	パラコート+ジクワット (ブリグロン)	[現 地 混 合]	武田薬品

区 分	薬 剤 名	有 効 成 分 お よ び 成 分 含 有 率	委 託 会 社
リ ン ゴ	トーヒ KO-622 粉 剤	トリクロフロピオンアミド (MK-072) 2.8% 2-メチル-4-クロロフェノキシプロピオン酸カリウム (MCPP) 3.1% シアン酸ナトリウム 5.4%	東 北 肥 料
	トーヒ KO-63 粉 剤	MK-072 15.4% MCPP (Na) 3.1% マレイン酸ヒドラジド (MH) 15.4%	東 北 肥 料
	トーヒ KO-670 粉 剤	シアン酸ナトリウム 5.4% MCPP (Na) 3.1% MH 15.4%	東 北 肥 料
落葉果樹	DCPA・NAC乳剤 (ワイダック)	3,4-ジクロロプロピオン アニリド (DCPA) 25% 1-ナフチル-N-メチルカーバメイト (NAC) 5%	ワイダック普及会 (保土谷)
	H-732 水和剤	ミカンの項 参 照	丸 和 物 産
	MCA・TCA・2,4,5- T 水和剤 (グラスレス2号)	#	三 井 化 学 三 井 農 林
	A D 水和剤 (ボミカル, アプレックス)	#	石 原 産 業 丸 和 物 産
	H-326D 水和剤	リニュロン 20% DCMU 30%	丸 和 物 産
	ATA+1-B-1 水和剤	ATA エチルキサンテンゲン酸ナトリウム (1-B-1) [現地混用]	石 原 産 業
	パラコート液剤 (グラモキソン)	1,1'-ジメチル-4,4'-ビピリウムジクロリド 24%	武 田 薬 品

<第2表> 昭和42年度果樹園関係薬剤実用化判定表

区 分	実 用 化	実 ~ 継	継 続	継 ?	中 止
ミ カ ン	H-732 水和 STIN 乳	A-1803 水和 リニュロン水和 A D 水和 パラコート+ DCMU	アメトリン 乳 リニュロンS 乳 CYPROMID 水和	DNBPA・リニュロン 乳 (春草) MCA・TCA・2,4,5- T 水和 (春草) MCC 乳 (春草)	DNBPA・リニュロン 乳 (夏草) MCA・TCA・2,4,5-T 水和 (夏草) MCC 乳 (夏草) TO-11 乳
リ ン ゴ	パラコート+ シクワット	A D 水和		アメトリン 乳 CYPROMID 水和 リニュロン 水和	H-732 水和 MCA・TCA・2,4,5-T 水和 トーヒKO-662 粉 トーヒKO-63 粉 トーヒKO-670 粉
落葉果樹		A D 水和 DCPA・NAC 乳 ATA+1-B-1	H-326D 水和 パラコート液		H-732 水和 MCA・TCA・2,4,5-T 水和

＜第 3 表＞ 昭和 4 2 年度果樹園関係実用化薬剤使用基準一覧表

区分	薬 剤 名	処 理 方 法	処理時期	使 用 量 製品 10a 当り	対 象 雑 草	使用上の注意
み か ん	A-1803 水和剤 (キャンパロール)	土壌および 雑草処理	夏期(7月 上旬)	1,000g	一年生雑草 (刈取代用)	
	H-732 水和剤	土壌および 雑草処理	春 期 夏 期	200~400	一年生雑草 (刈取代用)	・温州ミカン園で使用する。 ・プロマシルに準ずる。
	リニュロン 水和剤 (アフアロン)	土壌および 雑草処理	春 期	300~500	一年生雑草 (刈取代用)	・土壌の湿つた時効果が大 きい。
	S T I N 乳 剤	雑草処理	春 期 夏 期	1,000~2,000cc	イネ科一年生雑草 (刈取代用)	・DCPA・NAC(ワイ ダック)乳剤に準ずる。
	A D 水和剤 (アプレックス・ ボミカル)	土壌および 雑草処理	春 期 夏 期	400~600g	(永久除草用)	・幼木園定植後 2 年未満の 使用はさける。
	パラコート+DCMU	雑草処理	春 期 夏 期	150+100 ~300+100	一年生雑草 (刈取代用)	(現地混用)
り ん ご	A D 水和剤	土壌および 雑草処理	春 期 夏 期	400g (永久除草) 200~300 (刈取代用)	(永久除草) (刈取代用)	幼木園の使用はさける。
	パラコート+ジクワット (ブリグロン)	雑草処理	春 期 夏 期	200+200 ~200+100	一年生雑草 (刈取代用)	(現地混用)
落 葉 果 樹	DCPA・NAC (ワイダック) 乳剤	雑草処理	春 期 夏 期	3,000cc~ 4,000	一年生雑草 (刈取代用)	モモ園の使用はさける。
	A D 水和剤	土壌および 雑草処理	春 期 夏 期	400g (永久除草) 200~300 (刈取代用)	(永久除草) (刈取代用)	・ブドウおよびナシ園で使 用 ・幼木園の使用はさける。
	ATA+1-B-1	雑草処理	春 期 夏 期	200~300 +1,500	宿根草 (刈取代用)	・幼木園の使用はさける。 ・樹木の根の浅いところの 使用はさけ、宿根草をね らつて散布。